

基本事業コード	04050001	担当課所名	下水道センター
基本事業名	下水道センター維持管理事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり
	施策	3	汚水処理施設の整備
			総合振興計画 72 ページ

基本事業の概要
 下水道センター、汚水中継ポンプ場(4箇所)、マンホールポンプ(31箇所)の運転管理を行なう。公共下水道区域からの汚水を処理施設で受け入れ、関係法令の排出基準以下に浄化処理して放流し、公共水域(荒川)の水質保全を図る。また、施設見学の希望者には、随時、案内を実施するほか、毎年9月の「下水道の日」にあわせて、下水道センター見学会を開催し、下水道のしくみや施設の内容を理解してもらう。

対象 公共下水道処理区域の利用者、市民(見学会)
意図 下水道法、水質汚濁防止法等の法令に従い、排出基準値を下回る処理水を放流する。見学会に関して、下水道のしくみや施設の運転内容を理解してもらう。
(対象をどのようにしたいか)

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
放流水水質(BOD)		mg/L	5.7	15.	7.7	15.	下水道法 15mg/L以下
放流水水質(SS)		mg/L	6.	40.	6.4	40.	下水道法 40mg/L以下
放流水水質(PH)		—	7.1	基準範囲以	7.1	基準範囲以	下水道法 5.8~8.6
下水道処理施設の無事故率		%	100.	100.	100.	100.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	下水道センター維持管理事業	指標 運転管理日数			365.	日	B 維持 拡充	○
		171,817,379	179,076,472	205,397,000	365.			
02	ポンプ場維持管理事業	指標 運転管理日数			365.	日	B 維持 拡充	
		16,021,266	18,141,689	18,409,000	365.			
03	マンホールポンプ維持管理事業	指標 運転管理日数			365.	日	B 維持 拡充	◎
		14,887,006	16,800,653	19,082,000	365.			
04	下水道センター見学会事業	指標 見学者数			30	人	B 維持 拡充	
		0	0	0	2.			
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		237,942,000	242,591,000	
事業費の合計(円) (A)		202,725,651	214,018,814	242,888,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
正規職員	業務量	3.85人	3.85人	
	人件費(B)	22,877,685	23,178,928	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		225,603,336	237,197,742	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	公共用水域の水質保全はこの事業の根本である。基本事業指標と目標値は、下水道法による排出基準とし、平成24年度までの実績値は目標値をクリアしている。今後も流入量、流入水質の変動に考慮し、各施設の保守点検を継続的に行い不測の事態のないよう適切な水質管理を実施したい。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 終末処理場・ポンプ場・マンホールポンプの維持管理3事業がそれぞれ適切な運転管理を実施することにより公共下水道区域内の汚水の適正な浄化処理をできるものである。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 下水道法の定めにより各地方公共団体が公共下水道の設置、改築、修繕、維持、その他の管理を行うこととしている。下水道センター・ポンプ場・マンホールポンプの維持管理は下水道センター所管し、下水道法では都市の健全な発展、公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質保全を目的としており適切である。すべての運転管理業務は委託しているが、設備の修繕等の技術的判断や各種の委託業務は市職員で行っている。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 マンホールポンプ施設は現在31か所あり、各々に汚水ポンプ2台が設置され平常時は自動運転を実施し、雨水等異常高水位時には2台運転となる。62台のポンプの運転状況(絶縁・オイルの状態)を点検しながら計画的に修繕を実施していく必要がある。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>環境省の考え方としては、高濃度放射性物質を含んだ下水道汚泥・焼却灰等の指定廃棄物は発生した県内で処分することとしている。県内にはまだ指定廃棄物の処分場はないが、今後、国・県等がどのように対応するか注視している。</p> <p>汚泥焼却設備の休・廃止は汚泥中の放射性物質濃度が上がったことを踏まえて考慮中。高濃度放射性物質を含んだ焼却灰の処分方法については未定(環境省と協議中)</p> <p>依然として、高濃度放射性物質を含んだ焼却灰の処分方法は未定である。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>エアレーションタンクを爆気するための送風機設備(設置後30年経過)の長寿命化を図るため付属の設備等を含め定期的な消耗品を含めオーバーホールを実施していく。</p> <p>大野原ポンプ場の汚水ポンプ1台オーバーホール。遠方監視装置への更新</p> <p>上記の計画は完了した。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>現在、下水道センターの市職員3名は、全員管理職であり約10年のうちには退職となる。施設の維持管理は外部委託で事足りるが、施設の故障発生時の修繕や保守点検整備委託など業者との交渉や対応・設計書作成・発注・監督業務などは経験年数を重ねた技術者でなければ難しい点がある。ベテランの技術者がいるうちに若い技術者を育成する必要がある。</p> <p>平成25年度合流改善に伴う高速ろ過設備工事(下水道課所管)の実施</p> <p>平成25年度実施中(下水道課所管)</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
下水処理場・ポンプ場・マンホールポンプ施設等の適切な維持管理を行うことにより、流入下水を排水基準値以下に浄化処理して放流できるため公共水域(荒川)の水質を保全することができる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	橋本 賢司	電話番号 0494-22-1451
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	04050002	担当課所名	下水道センター
基本事業名	みどりが丘工業団地下水管理事業		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり
	施策	3	汚水処理施設の整備
総合振興計画 72 ページ			

基本事業の概要	みどりが丘工業団地内の各企業からの事業排水(県条例の排水基準に適合した処理水)を施設で受け入れ、高度処理するための事業で、水域の水質保全を図る。
---------	--

対象	みどりが丘工業団地の各事業所
意図 (対象をどのようにしたいか)	水域の水質保全を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
運転管理日数		日	366	365	365	365	
処理水流入量		m3/日	220	230	260	260	
定期点検回数		回/週	1	1	1	1	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	みどりが丘工業団地下水管理事業	指標	指標	指標	365	日	A 維持 維持	
		3,424,349	3,412,480	4,189,000	365			
02		指標						
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		4,189,000	4,189,000	
事業費の合計(円) (A)		3,424,349	3,412,480	4,189,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
正規職員	地方債			
	その他特定			
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	3,424,349	3,412,480	4,189,000
	業務量	0.15人	0.15人	
人件費(B)		891,338	903,075	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		4,315,687	4,315,555	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	工業団地内の各事業所から処理施設へ流出する汚水の水質基準は、埼玉県生活環境保全条例の基準値以下としている。各事業所の稼働状況等により流入量も増減する為、過去の実績値を参考に今後の運転方法を検討したい。なお、本施設は各事業所から一度公共水域に放流された排水を受け入れる施設であり、水質汚濁防止法に規定された特定施設に該当しない為、排水基準の設定は無く、水質に関する指標は盛込んでいない。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 施設の処理能力(2,300m ³ /日)に対して、各事業所からの流入量が少ない為、技術的に運転調整することが難しく、流入量に見合った運転処理方法を検討する必要がある。この処理能力については、埼玉県企業局の施設計画時の流入予測が多過ぎた為、施設の規模が過大で、秩父市へ移管後から現在まで、運転処理方法に苦慮している。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 施設は、埼玉県企業局が計画・設置したもので、平成9年に秩父市に移管された。県条例、市条例(秩父みどり丘工業団地排水処理施設条例)に基づき、総合振興計画の施策達成目標に係る事業で、実施主体は適切である。

↓ Action

◆改善提案◆		
新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 処理能力に比べ流入水量が少なく実際には処理ができていない状況にあるため現状維持している。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案		
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案		
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案	現在の流入水量は、処理能力の10分の1程度の量であるため正規な運転処理ができていない。今後も流入水量に大きな変化がないと予測されることから現状を維持する中で最善の方法を検討していきたい。	現在の流入水量は、処理能力の10分の1の量であるため正式な運転実施できていない。今後も大きな変化がないと思われるため現状を維持する中で最善の運転方法を検討したい。 流入水量はほぼ横ばい、依然として少ない状況にあるため現状維持とした。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	橋本 賢司	電話番号 0494-22-1451
----------------------	-------	----------------------